



自民党 責任政党!!

令和3年(2021)11月14日発行

# 京都市会議員団ニュース

No.73

■発行人／橋村芳和 ■編集委員／森田守 〒604-8571 京都市中京区河原町御池 TEL.075(222) 3718~23 FAX.075(257) 3091 http://jimin-kyoto.jp/



## 令和4年度 予算・施政方針に要望 ——コロナ禍への対策を厳選——

10月31日に執行された衆議院議員総選挙では、自由民主党は単独過半数を確保し、引き続き我が国の政権を担うこととなりました。国民の声を真摯に受け止めて形にして、信頼と共感を得られる政治を更に進めていきます。

かたや、京都市においては、新型コロナウイルス感染症は、

昨年までの要望項目についても引き続き取組の推進を求めますが、新型コロナウイルス対応の状況を踏まえ、要望項目を厳選しました。

### 今回の要望について

我々、自由民主党京都市会議員団は、本市の予算・決算を認めてきた一方で改革も求めてきたところですが、今後は各施策を単に見直すだけではなく、必要性の高い施策の持続可能性を追求すべきであると考えています。ついては、行財政改革の取組と都市の成長戦略で、覚悟を持って今ある危機を全庁一丸で乗り越えることを求め、令和4年度要望を提出しました。

#### 総務消防委員会

- 年々、激甚化している自然災害等を踏まえ、あらゆる災害に備えた取組を進めること。
- 市有財産の有効活用を推進すること。
- 京都刑務所、京都拘置所、京都運輸支局をはじめとした国有地の有効活用を進めること。
- オンラインによる行政手続き、GIGAスクール構想など、デジタル化を早期に実現すること。

#### 文化環境委員会

- スポーツ施設の整備・改修に民間活力を導入し、効率的・効果的な活用を行うこと。
- 文化(財)を次世代に引き継ぐため、文化観光資源保護基金の活用やクラウドファンディング、ふるさと納税等の取組を着実に進めること。

#### 教育福祉委員会

- 京都市地域コミュニティ活性化推進条例の市民理解を進めるとともに、地域活性化や担い手確保のための取組を行うこと。
- 脱炭素社会の実現を目指し、地球温暖化対策を更に推進すること。

- 新たな生活様式への対応を踏まえ、「電子図書館」の導入を検討すること。
- 新型コロナウイルスにおける医療体制の充実とともに、感染者等に対する偏見や差別が生じないよう取組を徹底すること。
- 新型コロナウイルスの収束に向け、国や京都府と連携し、感染拡大防止対策を一層進め、京都経済回復への取組に努めること。
- 子どもを健やかに生み育てる事ができる社会環境の整備と

#### まちづくり委員会

- 子育て世代の負担軽減策等の支援を進めること。
- 若年層・子育て世代が暮らしやすい住宅の供給などに努めること。
- 空き家対策等に積極的に取り組むこと。
- 京都市と大津方面や亀岡方面を繋ぐ国道1号や9号について

#### 産業交通水道委員会

- ポストコロナを見据えた経済回復に備え、基幹産業の一つである観光において、市民に共

### 敬老乗車証制度を守る

今回の敬老乗車証制度の見直しは、交付開始年齢を75歳まで引き上げるとともに、負担金を所得に応じて引き上げる内容ですが、同等の価値がある市バス・地下鉄共通全線定期券は205,520円であり、持続可能な制度とするためにご理解いただきたいと思ひます。

さらに、敬老バス回数券の導入及び民営バス敬老乗車証の適用地域の一部拡大といった、交付率や利便性の向上や、市税負担額が現在の52億円から10年後には25億円となり、33億円の財政効果が見込めます。

自由民主党京都市会議員団は、**敬老乗車証制度を持続可能な制度とするため、これからもしっかりと取り組んでまいります。**

	現行	見直し後	
		令和4年10月1日~	令和5年10月1日~
交付対象 <b>改定</b>	70歳以上の方	75歳以上(※)で、合計所得金額700万円未満の方	
敬老乗車証(フリーパス証)の利用者負担金 <b>改定</b>	所得に応じ、年額3,000円~15,000円 ・月額250円~1,250円 ・生活保護受給者等は0円	所得に応じ、年額6,000円~30,000円 ・月額500円~2,500円 ・生活保護受給者等は0円	所得に応じ、年額9,000円~45,000円 ・月額750円~3,750円 ・生活保護受給者等は0円
敬老バス回数券 <b>新設</b>	なし	なし	新設 ・最大、額面10,000円の回数券を半額(5,000円を限度)で交付・ただし、フリーパス証との選択制
民営バス証の適用地域の <b>一部拡大</b> <b>充実</b>	適用地域	変更なし	適用地域の一部拡大

※ 年齢の引上げは2年に1歳ずつ10年間で段階的に行います。

# 観光の恩恵を取り戻す

## 市民にも実感できる効果を

### 都市間競争の激しい修学旅行誘致

北区

#### 山本恵一議員

■山本恵一議員（質問） 新型コロナウイルス感染症と付き合ひながら、市民の皆様、観光客、事業者それぞれにとって、観光の恩恵を享受できる持続可能な観光の実現に向けて、どのように進めていくのか。併せて、都市間競争が激しくなっている修学旅行につ

いても、今後いかに誘致に取り組んでいけるのか、お考えをお聞かせください。  
■門川大作市長（答弁） 地域や環境に配慮した取組を進めるなど、京都観光行動基準の実践に努めつつ、観光の力強い回復を図ってまいります。また、産業や雇用などの経済効果だけでなく、まちづくりの進展、地域活性化、国際親善など、観光がもたらす効果について市民の皆様にご実感していただけるよう、広報媒体や周知方法も工夫して取り組んでまいります。

また、修学旅行についても安心安全を確保しながら、SDGs 未来都市・京都の魅力も活かし誘致に取り組み、持続可能な新しい京都観光の実現に全力を尽くします。  
■山本恵一議員（質問） 本市における森林経営管理制度の今後の展開について、市長のお考えをお聞かせください。  
■門川大作市長（答弁） 過去10年間に施業履歴のない人工



八坂通

#### 山本恵一議員の質問項目

- 1 地球温暖化対策について
- 2 環境や社会に配慮した消費行動、エシカル消費について
- 3 持続可能な京都観光の実現について
- 4 森林経営管理制度について
- 5 新しい消防体制の在り方について
- 6 今後の男女共同参画推進について
- 7 京都マラソン及びワールドマスターズゲームズ2021関西 JAPANについて（要望）

林とその所有者の把握を完了し、今年度からは対象人工林の所有者に対して今後の森林経営に関する意向調査と制度の趣旨説明を順次実施していきます。事業実施にあたっては、京都府ともしっかりと連携し、森林環境譲与税や豊かな森を育てる府民税を計画的かつ有効に活用することで、林業の成長産業化や担い手の育成等も併せて推進し、鋭意取り組んでまいります。

#### 男女共同参画計画 多様で柔軟な働き方

■山本恵一議員（質問） 第5次にわたって策定してきた「京都市男女共同参画計画」について、今後、国や法との

関係において、本計画をどのように位置づけ、どのように施策を推進していくのかお聞かせください。

■門川大作市長（答弁） 「真のワーク・ライフ・バランス推

# 市民の足 市バス・地下鉄

## 次世代に向けて守り抜く

### 安定経営のため市民の理解と協力を

西京区

#### 西村義直議員

■西村義直議員（質問） 市民の暮らしや社会経済活動を下支えする市バス・地下鉄事業をどう運営し、持続可能な経営とするのか、市長の覚悟と決意をお聞かせください。  
また、上下水道事業の今後の経営に対する覚悟と決意を伺います。  
■門川大作市長（答弁） 暮らしと多様な都市活動を支える重要な都市基盤である市バス・地下鉄を次の世代にも継承するため、市民の皆様にご不便や御負担をおかけします。両事業の安定経営の実現に向けて全力で取り組み、市

進計画」と統合し、「男女共同参画」と「働き方改革」の施策をより一体的・効果的に推進してまいります。  
また、本計画の下、国と府とも十分連携し、法改正の動

向を注視しながら、女性活躍推進、多様で柔軟な働き方の促進、あらゆる暴力の根絶や困難な状況におかれている方へのきめ細かな支援等に取り組んでまいります。

バス・地下鉄を守り抜きます。また、上下水道事業の経営の効率化を徹底し施設の長寿命化を一層推進するなど市民生活の重要なライフラインをしっかり守り続けます。

#### 住環境整備と両立する市街化調整を

■西村義直議員（質問） 市街化調整区域の活性化は、豊かな自然を守ること

多くの人が住みたいと感じる住環境の整備とを両立させながら進めていくことが大事であり、多様な住まい方を選択しながら住み続けられることが、京都市の人口減少にも歯止めをかけ、持続可能な都市の構築に繋がるものと確信しますが、本市の考え方を伺います。  
■門川大作市長（答弁） 先般市民意見募集を行った都市計画



市街化調整区域の活性化へ

#### 西村義直議員の質問項目

- 1 公営企業の見直しについて
- 2 市街化調整区域における今後の都市計画について
- 3 バリアフリーの現状と展望について
- 4 市民生活に寄り添うデジタル化推進について
- 5 西京区の道路整備について（要望）

法第34条第11号に基づく条例の制定では、対象となる集落や土地について一定条件の下で、新たに移り住む方の住宅の新築等が行えるものであり、この取組が地域の活性化に資するよう、令和4年4月の施行を目指し、着実に進めます。引き続き、市街化調整区域の皆様へ寄り添いながら、地域の思いや将来像を汲み取り、これまでの手法を組み合わせ、持続可能で魅力と活力あるまちづくりを進めます。

#### ユニバーサルデザインで共生社会の実現

■西村義直議員（質問） 共生社会の実現に向けた本市のユニバーサルデザイン・バリアフリー施策の現状と今後の展望について本市の考えを伺います。  
■吉田良比呂副市長（答弁） 本市では、他都市に先駆け、みやこユニバーサルデザイン推進条例を制定し、誰もが利用しやすいまちづくり、情報の伝達を進めてきました。ユニバーサルデザインの推進は共生社会の実現にも不可欠な要素です。一人一人の様々な気付きがユニバーサルデザインの推進につながることを、普及啓発に一層注力し、今後、民間企業や大学とも連携し、新たなアイデアや技術を取り入れた実践を進められるよう取り組みます。

【代表質問】9月市会 (9月30日)

# 子育て世代の京都市からの流出

## 定員割れ施設半数

### 保育内容の充実と丁寧な利用調整を

●右京区

### 田中たかのり議員

■田中たかのり議員 (質問)

子育て世代の京都市からの流出は大きな課題となっており、国基準で8年連続となる待機児童ゼロを達成しました。

一方、京都市の保育施設は、4月現在、児童数2349人分、半数以上の239の保育施設で定員が割れている状態も明らかになりました。

今後、今ある施設を柔軟かつ有効に活用し、子どもたち



の保育環境を守る責任があると思いますが、どのように考えているのか伺います。

■吉田良比呂副市長 (答弁)

保育の利用にあつては、子どもたちへの保育内容の充実を取り組むとともに、保護者に対して、丁寧な利用調整に取り組みます。保育施設の定員は、運営費に影響することから、本市補助金の検討の中で精査してまいります。

### 財源が減少する中 都市の成長戦略構築

■田中たかのり議員 (質問)

国からの地方交付税により、京都市に住む住民に一定の行政サービスが提供できる財源を配分されています。同時に、京都市は、独自の施策に取り組むために、市税収入を増やすことに取り組んできました。

一方、市税収入が増加しても、国の制度改正により、年々、地方交付税

が削減された結果、一般財源収入は減少傾向にあり、京都市の財政構造は厳しくなっています。

た文化や大学の知の集積等の本市の魅力を活用し、京都ならではのイノベーション都市を実現し、国内外への情報発信や積極的な企業への働きかけを進め、ひとと企業に選ばれる成長戦略を実現してまいります。

### ●田中たかのり議員の質問項目●

- 1 今後の保育環境について
- 2 京都市の成長戦略について
- 3 職員の働き方について
- 4 地域の担い手確保について
- 5 消防団の充実について
- 6 不妊治療について
- 7 右京区の課題について (要望)

### 地域企業の手本に 市職員働き方改革

■田中たかのり議員 (質問)

京都市では、職員に、人を大切にし、生活の中に文化を息づかせ、地域の絆の大切さを再認識するなど、生き方そのものを見直し、京都企業の手本となる「ひとを大切に」の京都ならではの働き方改革の実践を求めています。

■門川大作市長 (答弁) 優れ

# 宝が池公園の更なる魅力向上に向けて

## スケートボード練習場の充実へ！

### ストックヤードも有効活用へ

●左京区

### 豊田恵美議員

■豊田恵美議員 (質問)

東京オリンピックでは、日本人の活躍が目覚ましく、特に新種目であるスケートボード、自転車・BMXでの若い選手の活躍に世界中が感動しました。市民ニーズが高まっている

そのためには、職員一人一人の変化する意識とアイデアが大切だと思えますが、どのように考えているのか伺います。

■門川大作市長 (答弁) 職員一人一人が持ちこたえる能力を余すことなく発揮し、前例にとらわれず、挑戦と改革する組織作りに向け、多様で柔軟な働き方改革を推進します。

すか？

■鈴木章一郎副市長 (答弁)

オリンピックを契機に、改めてスポーツに対する市民の関心が高まる中、特に期待が集まっているスケートボードについては、既存公園を活用したスケートボード練習場の試行実施を始めます。

また、災害時に発生する樹木などのストックヤード等として使用している宝が池公園の低利用・未利用地について、公民連携公園活用トライア

整備が予定されているスケートボード練習場



ル事業を進めており、民間事業者の柔軟な発想を取り入れ、様々な活用の可能性について検討してまいります。

### 松賀茂公園予定地等の有効活用

■豊田恵美議員 (質問)

松賀茂公園予定地(松賀茂苗圃跡地)は長年未整備で、資産の価値に応じた活用がなされていない公園予定地については、あらゆる活用の可能性を検討するべきです。

■鈴木章一郎副市長 (答弁)

柔軟な発想での活用が求められており、これまでの考え方を見直し、売却も視野にそのあり方を検討してまいります。各施設が持つ機能を改

めて点検し、ゼロベースで検討を行います。

### 区役所機能強化の推進について

■豊田恵美議員 (質問)

区内にコンビニ・カフェ・郵便局・図書館・調剤薬局等があれば、窓口サービスの提供以外での来庁者が増え、区役所が多面的機能を有する「新しいまちづくりの拠点」になります。時代のニーズを捉えたスマートな区役所づくりが求められているが、見解を伺います。

■門川大作市長 (答弁) 庁舎スペースの有効活用の可能性も積極的に追求し、区役所機能の大胆な見直しに繋げるため、区役所業務のデジタル化と将来の区役所機能の在り方を検討する「庁内横断プロジェクトチーム」を速やかに設置し、取組を進めてまいります。

### ●豊田恵美議員の質問項目●

- 1 公園をはじめとする市有財産の有効活用について
- 2 スマートな区役所づくりの推進について
- 3 京都の強みをいかしたSDGsの取組の強化について
- 4 女性が輝ける社会の実現について
- 5 人と森林の関係づくりの推進について
- 6 学力調査の結果を受けた今後の教育環境の充実について (要望)

# どうする!?赤字の京都市財政

## コロナ禍以前の構造問題 原因を示し市民にどう理解を得るのか

●中京区

### 津田大三議員

■津田大三議員（質問） 昨年度決算では、コロナの影響で観光のお客様が激減し、京都経済全体に及んだことで市税収入は大きく落ち込みました。一方、積極的なコロナ対策の

結果、歳入歳出は過去最大の1兆円を超え、特別の財源対策前の収支は172億円の赤字となっております。

コロナにより大きな影響を受けたことは事実ですが、一方で、漫然と続けてきた施策が時代やニーズとずれ、大きな課題となっていることも事実です。

日本は少子化・超高齢化が大きく進み、生産年齢人口（弱者を支えるべき人の数）は1200万人以上減少し、総人口の60%を割り込み50%に近づいています。

現在、様々な補助金のカットなどが、メディア等の色々な形で取り沙汰されていますが、例えば、敬老乗車証と同様の市バス・地下鉄に乗り放題の定期券を一般の方が購入すると年間20万5520円掛かります。これを誰がどんな割合で負担すれば全ての世代に納得いただけるのかを考

### ●津田大三議員の質問項目●

- 1 令和2年度決算について
- 2 行財政改革の推進方針について
- 3 新型コロナウイルス感染症への対応について
- 4 文化庁の全面的移転について
- 5 コロナ禍における少子化対策について

えていかなければなりません。この現状を市民の皆様にご理解してもらうのか。何故こうなったのか。どう変えていくのか。市長はこの決算をどう捉え、行財政改革に当たり市民に何を伝えるのか、お聞かせください。

### ■門川大作市長（答弁）

市民サービスの維持に重きを置いた結果、改革が不十分となり、収支不均衡が続いてきたことを真摯に受け止め、反省しなければなりません。財政の現状等をしっかり踏まえ、コロナ禍での市民生活や京都経済を支えつつ、あらゆる施策について、単に他都市並に削減するのではなく、高齢化に伴い増加する福祉予算の確保のため、持続可能性を追求し再構築してまいります。

また、見直しの基準はもと

より、施設やサービスの維持に必要な市税等の公費負担と利用者負担の適正な割合を示してまいります。少子高齢化、

デジタル化、災害の激甚化、新しい生活様式など、社会経済情勢の変化に対応し、市民生活のセーフティネットを守

るとともに、負担の先送りの解消を図りつつ未来に責任を持つ。大胆な成長戦略で未来を切り拓く改革です。時代の

変化を見据え、今後の展望を市民と共有し、魅力あふれる京都を次世代につなげていく覚悟です。

# 各区の予算要望の項目

皆さんのご意見・ご要望をお寄せ下さい

〒604-8571  
京都市中京区河原町御池  
自民党京都市会議員団  
jinins@nifty.com  
FAX 2577-3091

<ul style="list-style-type: none"> <li>●花背峠トンネル化を計画し、実現に向けて進めること</li> <li>●左京区南部の土砂災害・水害対策を十分に講じること</li> </ul>	<p>左京区</p> <p>さくらい泰広 豊田 恵美</p>
<ul style="list-style-type: none"> <li>●後院通の整備については、無電柱化と共に着実に進めること</li> <li>●三条通（西高瀬川並行部分）の歩道拡幅を進めること</li> </ul>	<p>中京区</p> <p>津田 大三 加藤 昌洋</p>
<ul style="list-style-type: none"> <li>●東山区をモデル地域に指定し、人口増加策を構築すること</li> </ul>	<p>東山区</p> <p>平山たかお</p>
<ul style="list-style-type: none"> <li>●新十条通以北の西野道と外環状線以东の新十条通の早期整備</li> <li>●利便性が低下している公共交通機関の一日も早い改善</li> </ul>	<p>山科区</p> <p>富 きくお 吉井あきら</p>
<ul style="list-style-type: none"> <li>●JR 西大路駅北口新設に伴う梅小路公園への動線の再整備</li> <li>●細街路や路地の交通危険箇所の洗い出しと安全対策強化</li> </ul>	<p>下京区</p> <p>下村あきら やまづまい子</p>
<ul style="list-style-type: none"> <li>●区役所について、時代に合わせた計画検討を行うこと</li> <li>●JR 西大路駅バリアフリー化の根本目標である南側の推進</li> </ul>	<p>南区</p> <p>椋田 隆知 しまもと京司</p>

<ul style="list-style-type: none"> <li>●阪急京都線と西小路通が交差する道路・踏切の改良</li> <li>●桂川の治水対策について早期に完全なる対策の実現を</li> <li>●七条通の幅員整備は、可能な取組から進めること</li> </ul>	<p>右京区</p> <p>田中たかのり 森田 守 井上よしひろ</p>
<ul style="list-style-type: none"> <li>●新たな交通システム検討と更なる利便性拡充を図ること</li> <li>●市立芸術大学移転後は公共性の高い施設整備に</li> </ul>	<p>西京区</p> <p>田中 明秀 西村 義直</p>
<ul style="list-style-type: none"> <li>●醍醐コミュニティバスが安定運用できる施策を講じること</li> <li>●JR 稲荷駅西側の環境整備に早急に取り組むこと</li> <li>●大手筋通の無電柱化及びバリアフリー化事業の早期完了</li> </ul>	<p>伏見区</p> <p>繁 隆夫 橋村 芳和 みちはた弘之</p>
<ul style="list-style-type: none"> <li>●生活の生命線である山間地域道路の通行と通信機器の確保を</li> </ul>	<p>北区</p> <p>山本 恵一</p>
<ul style="list-style-type: none"> <li>●京都御苑周辺の転落防止安全対策に継続して取り組むこと</li> <li>●小中一貫教育に向けて課題に向き合い解決に取り組むこと</li> </ul>	<p>上京区</p> <p>中村三之助 寺田 一博</p>